

制服の有無について

平成28年度に全検討事項の確認を行った際、制服の導入の必要がない旨の意見があり、反対する意見もなかった。

準備委員会に報告するにあたり、制服の導入の必要がないことの確認をする。

■制服・標準服について

制服…デザイン等が学校独自のもの。学校での着用を校則等で規定している。

標準服…学校での着用が、ふさわしい服装の標準を示したもの。学校での着用を推奨していることがほとんどであるが、大多数の児童が使用することで慣例的に制服と同様の扱いとなっている。

⇒公立の小学校では、標準服の使用を制服としての取扱いをしている場合が多い。

■先行事例 【愛媛県今治市（今治小、美須賀小、日吉小、城東小）の例】

制服を使用している学校と使用していない学校の統合であるため、小川南小学校の事例と一致はしていないが、制服の使用についての保護者の意見を参照する。

保護者の意見の概要

1 経済性

【制服】私服を買え揃える費用が抑えられ、長く使える。

⇕

【私服】制服を揃える費用の負担が大きい。予備も必要となる。

2 利便性

【制服】服装に気をとらわれない。児童を認識しやすくなる。

⇕

【私服】動きやすい。成長や体調に合わせた服装ができる。

3 その他

【制服】統一性がある。冠婚葬祭でつかえる。

【私服】楽しめる。洗しやすい。

参照 【今治市の事例】PTA 部会（制服検討班報告）

※制服に関するアンケート結果の一部抜粋

主な意見のとりまとめ

	制服	私服
賛成の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・長い目で見れば、経済的。 ・丈夫。 ・服装（風紀）の乱れが無い。学生らしい。 ・協調性、仲間意識、団結。 ・行事や式典等は、統一されていた方が、美しい。 ・身だしなみ。公私の区別が付きやすい。 (学校と家との切り替え) ・家庭毎の格差が出にくい。 ・朝悩まず、身支度が早くできる。楽。 ・どこの学生か一目でわかる。登下校時に、見守りやすい。(防犯、不審者対策) ・冠婚葬祭のときに、着用できる。 ・洗濯が簡単。 ・学ぶ事に集中できる。(服装の事が、気にならない。) ・せっかくの新しい学校。制服も学校のシンボルになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家計の負担が少ない。 ・成長に見合ったサイズの服を着させやすい。 ・暑さ、寒さへの調整（体調管理）がしやすい。 ・毎日洗濯でき、清潔。アイロンをかけなくてよい。 ・転勤がある家庭にも、都合が良い。 ・洗い替えの心配がない。 ・帰宅後、着替えなくて良い。 ・動きやすい。(のびのび動ける。) ・ファッションが楽しめる。(個性を表す事ができる。)
反対の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・初期費用がかかる。 ・成長毎の買い替えが必要。負担が大きい。 ・新しいデザインになると、お下がりが無い。 ・暑さ、寒さへの調整（体調管理）がしにくい。 ・毎日、同じものを着るのは、不衛生。 ・洗い替えの心配がある。 ・洗濯や、破れたりした場合の修繕が大変。 ・帰宅後、私服に着替える必要がある。 (制服・私服と二重の費用、洗濯が必要。) ・動きにくい。(堅苦しい。) ・女子のスカートは、防犯面で不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服をたくさん購入しないとイケない。(家計に負担) ・流行の物や、皆と同じ物(ブランド)を欲しが (華美な服装) ・通学服のルールがわかりにくい。(服装の乱れ) ・統一感がない。 ・家庭による格差が生じる。(いじめ、仲間はずれの原因) ・毎日、何を着るか悩む。 ・入学式や卒業式等の式典の際、そのためだけに、正装用の服を購入しないとイケない。